

## 血清中性脂肪濃度 (図表4.3)

### 全死亡

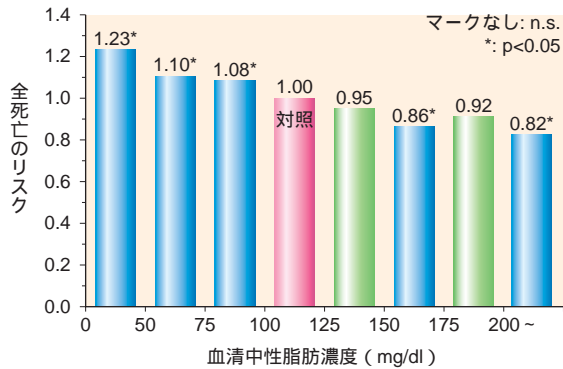


表 透析前血清中性脂肪濃度のリスク (全死亡)

透析前血清中性脂肪濃度 (mg/dl)		ハザード比	(95%信頼区間)	p 値
<	50	1.225	(1.133 ~ 1.325)	<.0001
50	< 75	1.100	(1.030 ~ 1.174)	0.0043
75	< 100	1.076	(1.008 ~ 1.149)	0.0287
100	< 125	1.000	( 対照 )	対照
125	< 150	0.946	(0.872 ~ 1.027)	0.1845
150	< 175	0.863	(0.781 ~ 0.953)	0.0037
175	< 200	0.915	(0.813 ~ 1.030)	0.1400
200		0.821	(0.746 ~ 0.904)	<.0001

血清中性脂肪濃度が低いほど死亡のリスクが高い結果でした。これは低栄養による死亡リスク増大を示していると考えられます。

一方、高い血清中性脂肪濃度でのリスク増大は認められませんでした。

ただし、透析患者には血清中性脂肪濃度が著しく高い患者はごく少数しか存在しません。このため著しく高い血清中性脂肪濃度と予後との関係は必ずしも明らかではありません。

### 心不全死

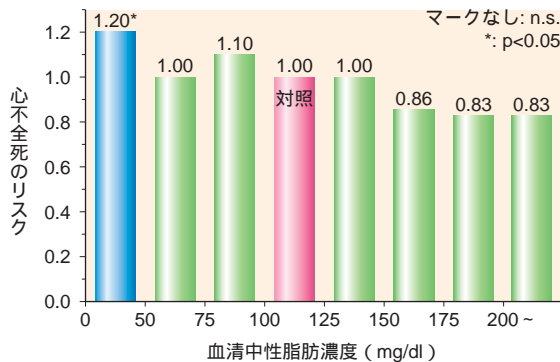


表 透析前血清中性脂肪濃度のリスク (心不全死)

透析前血清中性脂肪濃度 (mg/dl)		ハザード比	(95%信頼区間)	p 値
<	50	1.204	(1.030 ~ 1.407)	0.0199
50	< 75	1.000	(0.877 ~ 1.141)	0.9963
75	< 100	1.103	(0.970 ~ 1.253)	0.1351
100	< 125	1.000	( 対照 )	対照
125	< 150	1.002	(0.855 ~ 1.174)	0.9809
150	< 175	0.860	(0.707 ~ 1.046)	0.1303
175	< 200	0.831	(0.651 ~ 1.060)	0.1352
200		0.829	(0.685 ~ 1.004)	0.0550

50mg/dl 未満の極低い血清中性脂肪濃度で心不全死リスクの有意な増大を認めます。

有意ではありませんが、血清中性脂肪濃度が高いほど心不全死リスクは緩やかに低くなる傾向が認められます。

### 心筋梗塞の発症

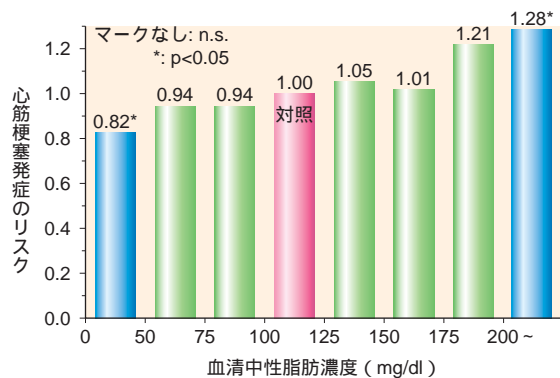


表 透析前血清中性脂肪濃度のリスク (心筋梗塞の発症)

透析前血清中性脂肪濃度 (mg/dl)		ハザード比	(95%信頼区間)	p 値
<	50	0.820	(0.680 ~ 0.989)	0.0380
50	< 75	0.936	(0.809 ~ 1.083)	0.3727
75	< 100	0.935	(0.808 ~ 1.082)	0.3666
100	< 125	1.000	( 対照 )	対照
125	< 150	1.051	(0.887 ~ 1.246)	0.5659
150	< 175	1.013	(0.830 ~ 1.235)	0.9019
175	< 200	1.211	(0.969 ~ 1.513)	0.0924
200		1.278	(1.076 ~ 1.518)	0.0051

有意性は必ずしも強くはありませんが、血清中性脂肪濃度が高いほど心筋梗塞発症リスクは増大する傾向が認められます。

50mg/dl 未満の極低い血清中性脂肪濃度で、心筋梗塞発症リスクは最も低くなっています。

しかし、この極低い血清中性脂肪濃度で全死亡リスクや心不全死リスクは最も高い、ということと考え合わせると、透析患者における血清中性脂肪濃度の管理基準設定には慎重な考察が必要と思われます。

## 脳梗塞の発症

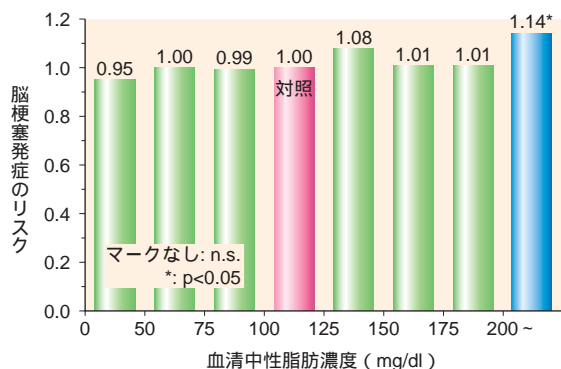


表 透析前血清中性脂肪濃度のリスク（脳梗塞の発症）

透析前血清中性脂肪濃度				
(mg/dl)	ハザード比	(95%信頼区間)	p 値	
< 50	0.951	(0.830 ~ 1.090)	0.4674	
50 < 75	1.003	(0.900 ~ 1.116)	0.9628	
75 < 100	0.993	(0.892 ~ 1.105)	0.8984	
100 < 125	1.000	( 対照 )	対照	
125 < 150	1.076	(0.950 ~ 1.220)	0.2501	
150 < 175	1.005	(0.867 ~ 1.165)	0.9463	
175 < 200	1.005	(0.841 ~ 1.200)	0.9591	
200	1.143	(1.001 ~ 1.304)	0.0483	

200mg/dl 以上の（透析患者としては）かなり高い血清中性脂肪濃度で、脳梗塞発症リスクの有意な増大を認めます。

ただ、心筋梗塞発症リスクなどと比べると、血清中性脂肪濃度と脳梗塞発症リスクの関係性はごく弱い印象を受けます。

## 脳出血の発症

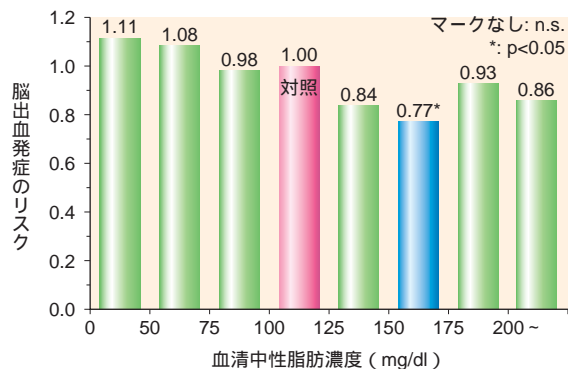


表 透析前血清中性脂肪濃度のリスク（脳出血の発症）

透析前血清中性脂肪濃度				
(mg/dl)	ハザード比	(95%信頼区間)	p 値	
< 50	1.111	(0.918 ~ 1.345)	0.2788	
50 < 75	1.084	(0.927 ~ 1.268)	0.3136	
75 < 100	0.983	(0.838 ~ 1.154)	0.8365	
100 < 125	1.000	( 対照 )	対照	
125 < 150	0.835	(0.684 ~ 1.020)	0.0769	
150 < 175	0.765	(0.601 ~ 0.972)	0.0285	
175 < 200	0.928	(0.710 ~ 1.214)	0.5862	
200	0.860	(0.697 ~ 1.061)	0.1594	

統計学的に有意なのは血清中性脂肪濃度が150~175mg/dl の水準のみですが、全体として血清中性脂肪濃度が低いほど脳出血発症リスクが高い傾向が認められます。